

共同通信デジタルのタイアップ記事制作に、プラップジャパンのバズ分析ツールを導入

～ 「BUZZ News Analyzer」による分析から、拡散性のあるキーワードや切り口を広告主に提案～

広報・PRの支援・コンサルティングを手がける総合PR会社の株式会社プラップジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木勇夫、以下 プラップジャパン）は、株式会社共同通信デジタル（本社：東京都港区、代表取締役社長：細田正和、以下 共同通信デジタル）が提供する地方紙Webサイト連携型タイアップパッケージ「Pb Network 10」（パブネットワークテン）に、当社独自のバズ分析ツール「BUZZ News Analyzer」（バズ・ニュース・アナライザー）による技術提供を開始しました。

ネット上のPR文脈を読み解き、共感を起こす露出を導く

Buzz News Analyzer

主要WEBメディア記事（年間250万件超）のBUZZ（SNSシェア量）分析から
BUZZトレンドやエンゲージメントを把握するPRAP独自開発ソリューション

- 日本の主要Webメディア500媒体を対象に、2,000万記事以上のバズ数を取得したデータベース
- 「どのような話題が」「いつ・どのメディアで」「どれだけ拡散されたのか」を定量的に評価
- 競合との比較、時系列推移の把握、BUZZを生む媒体はどこかなど、さまざまな切り口で分析

共同通信デジタルでは、タイアップ記事を関東近郊の地方紙Web版と47NEWSの10媒体に一斉掲載することで、関東甲信越に特化した認知獲得や集客拡大を促進する「Pb Network 10」を提供しています。本商品は、共同通信デジタルや加盟社の記者による高品質なタイアップ記事制作に特長がありますが、より多くの読者に届けるために共感性の高さも重視しており、今回、「BUZZ News Analyzer」の導入を決定しました。

「BUZZ News Analyzer」とは、主要Webメディア500媒体を対象に2,000万記事以上のバズ数（※1）を取得し、“どのような話題が”“どのような切り口で”“どれだけ共感されたか”を定量的に評価することができるプラップジャパン独自のバズ分析ツールです。（※1 ソーシャルメディアでシェアされた回数）

従来のタイアップ記事では、企業・商品視点に立脚した内容が一般的でしたが、「BUZZ News Analyzer」の導入により、過去のデータをもとに共感性の高いキーワードや切り口を盛り込むことで、より社会に受け入れられやすいタイアップ記事を制作することが可能になりました。

「BUZZ News Analyzer」ではその他、自社・競合他社のメディア露出傾向を分析して情報開発の精度を高めることや、自社に関する記事のバズ数を把握する効果測定ツールとして活用することができるなど、広報・PR活動におけるPDCAサイクルの効率的な運用を実現します。

プラップジャパンは今後も、クライアント・メディア・ターゲットの三者を繋ぎ、それぞれが共有できる文脈（コンテキスト）を意識した、データドリブンなPRの実践を支援してまいります。

<プラップジャパンについて>

プラップジャパンは広報・IR 活動の支援を手がける総合 PR 会社です。各業界、専門分野に精通した数多くの PR スペシャリストを有し、企業・団体の広報コンサルティングおよびマスメディアとの強力なネットワークによるメディアリレーションを中核に、業界トップクラスの実績をもつメディアトレーニング、戦略 PR、ソーシャルメディア対応、PR イベント、PR ポータル・サービスなど、総合的なコミュニケーションサービスを提供しています。

URL : <http://www.prap.co.jp/>

【報道機関からのお問合せ先】

株式会社プラップジャパン 経営企画室 広報担当

Email: ir_info@ml.prap.co.jp

【サービスに関するお問合せ先】

株式会社プラップジャパン 松尾

Email: a-matsuo@prap.co.jp